

## 令和元年度 総合教育会議 会議録

- 1 **と き** 令和元年7月24日（水）15:00～16:00
- 2 **と ころ** 大垣市役所本庁舎2階 市長室
- 3 **出席者** 小川敏大垣市長、山本譲教育長、河合保孝教育委員、堀哲也教育委員、山川隆司教育委員、平野晶子教育委員
- 4 **事務局** 藤企画部長、早崎子育て支援部長、守屋事務局長、奥田地域創生戦略課長、浅井子育て支援課長、山下庶務課長、渡邊学校教育課長、石橋教育総合研究所長、堀社会教育スポーツ課長、中井文化振興課長、大谷上石津地域教育事務所長、加藤墨俣地域教育事務所長、中山南部北部学校給食センター所長、安田図書館長、吉安庶務課主幹、大橋庶務課主査
- 5 **傍聴者** なし
- 6 **議 題** 「大垣市第2次教育振興計画」基本目標・基本施策について

## 7 会議録

資料に基づき、山下庶務課長が説明。

以下、意見交換の概要。

発言者	発言概要
小川 市長	学校教育分野から、意見をお願いします。
平野 委員	<p>基本目標4「豊かな教育環境を整備し、いきいきと活動できる子を育成します」の中で、「健康な人」を育成するために安全安心な教育環境を整えるとありますが、最近の異常気象やアレルギー等により児童生徒の安全確保ができる環境が重要だと思います。</p> <p>また、教員の働きやすい環境のもと、指導力を身に付けた元気な教員と学ぶ環境や、多様な学習が可能となる教材も重要だと思っています。</p>
堀 委員	<p>多様性を尊重し、他を思いやる心を持ち、共に支えあうことは社会生活の中で最も重要なことであると思います。学校生活の中での道徳教育や人権・同和教育の充実や、今後も増えることが予測される外国人の子どもたちとも共に支えあうという考えを育成できる教育を望みます。</p> <p>また、情報モラル教育を含む、いじめや問題行動など学校や家庭と協働で他人と共に協調する心を醸成していかななくてはならないと感じています。</p> <p>教員の方々が元気でのびのびと活動できる学校環境こそが、児童・生徒もいきいきと学び活動できる環境であると考えています。教員の方々の支援については様々な取り組みをしていただいておりますが今後も働きやすい環境づくりを望みます。</p>
小川 市長	多様性ということはいじめなどの問題もあります。人権を尊重することが大切です。
山川 委員	<p>多様性という意味では、家庭に老人がいたり認知症の人がいたり、環境がおのおの違います。今後は「がん」では亡くなる人は減り、65歳以上の4人に1人が認知症や軽度認知障害になっていきます。</p> <p>自宅で家族が亡くなるのを看取することも少なくなっているようで、どのように人間が、老化・虚弱・認知になっていくかを教育していかなければいけない時代になりつつあると思っています。</p> <p>小学生同士だけでなく、世代間での交流が重要だと思います。</p> <p>また、グローバルでクリエイティブな、ノーベル賞を狙えるような人を育てるような教育環境を望みます。</p>

発言者	発言概要
河合 委員	<p>「教員の研修や環境づくり」が取り上げられています。</p> <p>子どもたちのさまざまな施策はしっかりしていると思いますが、それを支える教員の資質を向上するうえで、仕事のスリム化が必要だと思います。</p> <p>教員の事務作業から削減していき、教員の研修時間を確保することが、延いては学校教育の向上につながっていくと思いますので、重点的に取り組んでいただきたいと思います。</p>
小川 市長	<p>少子化ですが、教員も人手が少なくなってきましたので、仕事のスリム化が必要だと思います。</p>
山本 教育長	<p>教員の働き方改革は、昨年度から取り組んでおり、時間外の目安を月60時間までに設定していますが削減は難しいです。</p> <p>いじめの問題も年間多くの件数がありますが、早期に発見し対応しており、今後も、子ども側に寄り添って取り組みたいと思っています。</p> <p>外国籍の子どもは338人で過去最高の人数になっています。初期指導等進めていかなければいけませんし、学級へ戻った時にはグローバル化の中で共に過ごしていく「いい機会」として活かしていきたいと思っています。</p>
小川 市長	<p>社会教育分野について、ご意見をお願いします。</p>
堀 委員	<p>人口減少の中で、地域活動の担い手が少なくなっていくと予想されますので、地域とのかかわりの大切さを教えて、地域活動の担い手を育てることが重要だと思います。</p> <p>地域の方々との日常的な交流を基礎に、健全な心と郷土への愛着を養い、世代を越えてより多くの年代の方々との交流することにより、大人も子どもも多様な価値観を認識して思いやりのある人づくりが必要になってくると考えます。</p>
河合 委員	<p>高山教育委員会では、地元のロータリークラブと提携して、授業の中で、地元の職業を中学生に紹介しています。</p> <p>地域企業や職業奉仕団体と手を組み、将来の自分の職業の参考や、やってみたい仕事への関心を持ち、知り、学べる機会を作っていただきたいと思います。</p>
小川 市長	<p>文化振興分野について、ご意見をお願いします。</p>

発言者	発言概要
山川 委員	<p>住んでいる地域の人文化を支え、文化が地域を支えている側面もあります。</p> <p>大垣の先賢がこの地域でどのように育ったかを学び、地域の伝統・文化を大切にしていきたいと思います。それが地域をつくり、人のネットワークにつながると思います。</p>
平野 委員	<p>基本目標1「文化芸術活動を充実し、豊かな想像力を育む人づくりをめざします」の中で、質の高い音楽や芸術に触れることで、豊かな創造力や表現力が生まれると思います。</p> <p>色々なことを吸収できる時期の子どもや青少年が、そういった経験を1つでも多く出来る様に機会を作っていただきたいと思います。</p>
小川 市長	<p>音楽事業などを実施しても、特定の人だけの参加になって、広がっていかないのが課題です。</p> <p>読書活動分野について、ご意見をお願いします。</p>
堀 委員	<p>読書は、「言葉」「日本語の奥深さ」を学び、感性や表現力、想像力をはぐくむ手段としてとても大切なものであると考えています。</p> <p>グローバル社会の中での英語教育も重要ですが、やはり日本語が正しく理解されなければならないと感じます。そのためには読書活動はなくてはならないものであると思います。昨今は情報など、その多くをネットなどから容易に得られる環境になっていますが、日常の中で活字に親しみ、そこから感性や想像力を磨く機会と環境の整備が必要だと考えます。</p>
山本 教育長	<p>平成30年度の全国大学生生活協同組合のデータによると、大学生の半数が、読書時間が月0時間とのことです。大学の先生の調査研究によると、ネット社会になり読書離れが進んだわけではなく、小中学生の頃に本を読む習慣がついていないことが要因だということです。そういう意味で、図書館を中心として、家庭や学校と協力して、読書が生活習慣の中に根付くようにすることが大切だと思います。</p>
平野 委員	<p>幼稚園で、聞く力を身に付けさせるために、絵のない状態で、絵本の読み聞かせを実施してみようと思っています。</p>
河合 委員	<p>図書館は人が来てくれるように努力することも大切ですが、図書館自身が色々な場所に出張に行くという行動的な図書館が今後の姿かと思えます。</p>

発言者	発言概要
山川 委員	インターネットが発達して、調べ物が容易になりましたが、インターネットの中の情報は、内容も表現も信頼できるものばかりではありません。書籍から良い文章に触れて、どう理解して、どう考え方を組み立てるかが重要だと思います。
小川 市長	スポーツ推進分野について、ご意見をお願いします。
河合 委員	<p>学問で言えばノーベル賞ですが、スポーツで言えばオリンピック選手の輩出ということになります。</p> <p>基本目標2の(1)「スポーツを支える担い手づくり」の中で、指導者の育成と確保を図るとありますが、選手の強化や育成には良い指導者が必要です。また、大会運営にかかせない競技役員や審判も指導者同様に資格や経験が必要であり、育成には長い期間がかかります。</p> <p>2026年に愛知県で「アジア大会」が行われる予定で、現在の中学生が対象年齢になってきます。そこに出場できる選手を育てるためには、今から競技団体等に対する支援や協力、審判講習など、「スポーツを支える担い手づくり」の取り組みが必要になってきます。</p>
山川 委員	健康をいかに守るかということの中で、認知症の予防の1つとしてスポーツがあります。中高齢の運動の「習慣」「継続」「定着」が広がるような施策が必要だと思います。
堀 委員	<p>スポーツは、健全な心と体を養う機会として、また、人とのつながりや地域活動、コミュニティーの場としても有用であると考えます。</p> <p>大垣市は小さい頃からスポーツに接する機会が多いと思いますが、少年団の関係では、指導員の方々の熱が入りすぎることも聞いています。勝つことだけが前面に出るのではなく、それぞれのレベル・目線で楽しくスポーツ活動をすることが重要だと思います。スポーツを通して何を学ぶのかを主眼においてスポーツ推進に取り組んでいただきたいと思っています。</p>
平野 委員	基本目標4「スポーツが出来る環境を整備し、生涯いきいきとスポーツする健康な人」の中で、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで色々な角度からスポーツに親しめ、健康づくりや生きがいにもつながります。障がいのある方や年齢問わず色々な立場でそれぞれが楽しめる、人生も豊かになると思います。沢山の方がスポーツを楽しめる機会と、施設の充実を今後ともお願いいたします。

発言者	発言概要
山本 教育長	<p>河合委員のおっしゃった、指導者や競技役員について、体育連盟と連携をとり、競技力向上も含めて検討していく必要があります。</p> <p>生涯スポーツについては、1週間に1度でも意識的にスポーツする人の割合を50%以上にしようと取り組んできました。今年45.3%ということで目標に近づいていると思っています。</p>
小川 市長	<p>オリンピックに出場できるような選手を育成していくことも大切ですし、また、多くの方がスポーツに関わって幅広く健康づくりに携わっていただくことも大切です。</p> <p>働き盛りの人があまり運動していないようですので、皆さんが参加できるような施策が望ましいのかなと思います。</p> <p>スポーツだけでなく、文化の分野でも同じことを感じます。特定の人だけの活動ではなく、幅広く広がっていくことが大切だと思います。</p> <p>どの分野でも結構です。言い残したことがあればお願いします。</p>
山川 委員	<p>世代間の交流ができる地域は良い地域ですし伝統も繋がっていきます。お年寄りを孤独にさせない事も大切です。社協や在宅医療の会議によく出席しますが、大垣は横の繋がりはよくできていると思うので、縦の繋がりができるといいと思います。</p>
山本 教育長	<p>地域でも、子どもたちと大人の関わりは非常に大事だと思っています。大垣は、地域の行事に参加する子どもの割合は、全国と比べて高くなっていますので、世代間の交流はできていると思います。その交流を強みにして、先ほどの認知症や、福祉に関する活動も広まっていくといいと思います。</p>
河合 委員	<p>中学生の性教育について、テレビで放送されていましたが、昔は男女に分かれて「体の仕組み」を絵で勉強しただけです。これからは、男女一緒に、避妊や病気になどの性教育が必要だと思います。本来、家庭教育かもしれませんが、なかなか難しいところがあります。昔はタブー視されるところがありましたが、今はテレビでも取り上げられて必要性も高まっています。日本は遅れているところがあります。</p>
山川 委員	<p>結婚しても子どもを作らないような風潮を、逆転させる施策が必要だと思います。これも教育で何とかしていけないと思います。</p>
小川 市長	<p>ありがとうございました。本日いただいた意見を参考に、計画策定を進めていただきたいと思います。</p>

閉会